

優秀賞

わたしは、こはのおねえちゃん

鹿児島県 鹿児島市立広木小学校一年 杉山 彩葉

「はやくおねえちゃんになりたいな。」

六がつ三かに、ママがあかちゃんをうみました。わたしは、おねえちゃんになりました。

ママは、あさ、びょういんへいきました。わたしは、ぱばとおにいちゃんとおうちでまっています。ゆうがた、びょういんにいって、あかちゃんがうまれるのを待ちました。よる九じぐらいに、小さい小さいあかちゃんがうまりました。

あかちゃんはおとこのこです。なまえは、こはくです。ぱばがなまえをきめました。みんな、

「こは。」

とよんでいます。

こはがうまれたとき、からだにちがついていました。でも、こわくありませんでした。小さいからはむにむにしていてかわいいなとおもいました。ままとこはがにゆういんしているあいだ、まいにちあ

いにいききました。

こはがはじめておうちにかえってきたひから、あかちゃんのおせわがはじまりました。おねえちゃんのおしごとののはじまりです。

あかちゃんのおせわは、おむつをかえることと、みるくをのませること、おふろにいれることがありました。わたしのはじめてのおせわは、おむつでした。はじめてするので、どうするのかわかりませんでした。それで、ママにおしえてもらいました。おしりをふくときはゆっくりふわっとふきます。きれいなおむつにかえてあげると、こはがにこっとするのでほっとします。ひとりでできるようになったとき、おねえちゃんってかっこいいとおもいました。みるくをあげるときは、だっこされたままごくごくのおむすがたがともかわいいとおもいました。

わたしがいちばんだいすきなおせわは、おふろの

おてつだいです。まず、こはのおようふくをぬがせます。ちいさいとあしがいたくないように、そっとぬがせてあげます。おむつもとって、はだかんぼうになったこはを、だっこしておふろにつれていきます。ママがこはをきれいにあらいます。おふろからママがならすびろりろりんびろりろりんというあいずでよばれたら、こはをおむかえにいきます。おとさないようにだっこして、やわらかいたおるでこのからだをふきます。こはのからだはぼかぼかしてもっとやわらかいかんじがします。きれいにふいたあとは、おむつをつけて、おようふくをきせてあげます。こはは、なかないでとてもおりこうさんです。ぜんぶおわると、ひとりでぜんぶしてあげられたことがうれしくて、やっぱりおねえちゃんだなあとおもいます。ママもぱばも、

「さな、ありがとう。」

といってくれます。

なつやすみになると、こはのおせわでできることがどんどんふえてきました。これからも、もっとたくさんこはのおせわをして、ママをたすけたいです。そして、こはのかっこいいおねえちゃんがんばりたいです。

